## 強さの源

筑西市立明野中学校

三年

藤さ

龍之介

ジしますか。 みなさんは、「強くなる」と聞いて、どんなことをイメー

多く、家でも父親と泣きながら練習をしていたので、すぐ ために、幼稚園児のとき、両親にキックボクシングの道場 に連れて行かれました。辛いことや痛い思いをすることが にやめてしまいたいと思っていました。 僕は、小さい頃とても泣き虫でした。泣き虫を克服する

うになりました。 と強くなりたい」という思いが生まれ、練習に身が入るよ さを忘れさせてくれるほどのものでした。その日から「もっ た、小学二年生のときでした。優勝した喜びは、練習の辛 逃げたい気持ちがなくなったのは、初めて大会で優勝し

練習を始めるときに、必ず道場や仲間に、

押忍!」

た。 こそが、自分を強くするものだと信じて練習をしてきまし 我慢する」という意味があるそうです。試合前の減量や追 とあいさつをして始めます。「押忍」とは、「自我を抑えて い込みの練習は我慢の連続で、「押忍」に込められた精神

した。 先輩と僕は、幼稚園児の頃からずっと一緒に練習してきま あり、よき友でもある、道場の一つ上の先輩の存在です。 そんな僕の考えを変えてくれたのは、僕のライバルでも

戦うかもしれない…」そう思うと、先輩の顔が見られず、 ロックに先輩の名前がありました。「もしかしたら先輩と ある大会の日でした。トーナメント表を見ると、別のブ

になりました。ないまま、試合が進みました。僕たちは、決勝で戦うこと気まずい雰囲気になってしまいました。先輩と一言も話さ

らよいのか分からない僕に、結果は、僕が勝ちました。試合後も、先輩にどう接した

である先輩の存在があるからだと気付かされました。きたのは、ずっと一緒に練習に取り組んでくれたライバルと、先輩が話しかけてくれました。そのとき、僕が優勝で「ありがとう。これからもまた一緒に練習頑張ろう。」

強さ」があると感じました。じことは出来なかったと思います。そんな先輩には「心の伝えてくれた先輩。僕が逆の立場だったらと考えると、同、決勝で負けてしまい悔しいはずなのに、感謝の気持ちを決勝で負けてしまい悔しいはずなのに、感謝の気持ちを

「先輩にベルトを獲ってもらいたい。」その一心でした。を考え、マッサージをしたり、減量を手伝ったりしました。手にするチャンスでした。僕は、先輩のためにできることた。この試合は先輩にとって初めてチャンピオンベルトをそれから、先輩の初めてのタイトルマッチが決まりまし

になりました。自分のこと以外でこんなに喜んだのは、僕トを巻く先輩の姿を見て、自分のこと以上に嬉しい気持ち試合当日、先輩は見事勝利しました。チャンピオンベル

で芽生えたのだと思います。がしました。きっと、先輩のような「心の強さ」が僕の中にとって初めての経験で、新たな自分に出会えたような気

このことから、僕なりの「強さの源」が見えてきました。これまで、辛いことに耐え、じっと我慢して練習をすることが強くなる方法だと考えていました。しかし、それだけではありません。自分には一緒に高め合ったり、励まだけではありません。自分には一緒に高め合ったり、励またっていくのです。体の強さと、心の強さ。キックボクシングは、僕に両方の「強さの源」を教えてくれました。シングは、僕に両方の「強さの源」を教えてくれました。ますか。ふと周りを見渡してみてください。友達や先生、家族がきっと、みなさんの「強さの源」になるはずです。今日も僕は、道場に行きます。仲間や先生へ、たくさんの気持ちを込めてこう言います。

押忍!」

